

地域の概況

1、歴史的経緯

中世のこの地域は、「奥山荘（※3）」といわれる一つの荘園により発展してきました。両地域には今も城氏やその血縁の女武将・板額御前（※4）にまつわる史跡や逸話が多く残り、郷土の誇りとして語り継がれています。

鎌倉時代には、当時の地頭・和田氏が支配し、その後財産分与により領地は分割され、地域の中央を「中条（中条氏）」、北側を「北条（黒川氏）」と呼ぶようになります。

明治22年、「市制町村制」を施行され、現在の中条町の区域は、中条町、柴橋村、本条村、乙村、横田村、松塚村、築地村、堀切村に、黒川村では黒川村、鼓坂村、坪江村となりました。

明治34年、いわゆる明治の大合併により黒川村は現在の村域となりました。同年、中条町も柴橋村、本条村と合併しています。

中条町は金塚村の一部を編入した後、昭和31年には乙村（明治期に横田村と合併）と合併しています。

昭和39年には中条町・黒川村を含む5か町村により「中条地区町村合併協議会」が発足したものの、昭和41年の「7. 17水害」で協議は中断し、水害から免れた築地村が中条町と合併し、中条町は現在の形になりました。しかし、翌42年にも両地域を含む下越地方は「8. 28水害」に見舞われ、各町村の復興を第一として、以来合併協議は立ち消えとなりました。

【用語解説】

（※3）奥山荘…中条町を中心に北蒲原郡北部、岩船郡南部に広がる中世の荘園。往時の勢力を検証することができる国指定の城館遺跡や波月条絵図は全国的に有名。歴史の広場として整備された江上館跡は、城氏滅亡の後、奥山荘を与えられた三浦和田氏のものを再現したもの。

（※4）板額御前…越後一円に勢力を誇った城氏の血縁で、歴史書「吾妻鏡（あづまかがみ）」に弓の名手と記されている。幕府の討伐を受けた鳥坂城の戦いでは、百発百中の強弓の腕前を振るったが、捕らわれた後、甲斐国・浅利家に嫁いだ。勇敢であったことに加え、美人でもあったとされ、静御前、巴御前とともに、日本三大御前といわれる。

2、地勢と自然環境

両町村は、新潟県の北東部、北蒲原郡の北端に位置しています。

東には飯豊連峰（1,887m）が山形県境に接し、西には日本海が広がり、総面積は265.18 km²（中条町 84.58 km²、黒川村 180.60 km²）、県都・新潟市までは約40 kmの位置にあり、平成14年秋に開通した「日本海東北自動車道」により、両地域にも高速交通社会が訪れました。

四季折々の美しい自然に彩られる両地域は、飯豊連峰を源とする母なる川・胎内川を中心に町村域を形成しています。15 kmに及ぶ海岸線には砂丘と松林、胎内川扇状地には緑の優良農地が広がっています。地域の中央には南北に櫛形山脈・蔵王山塊が連なり、平野部と山間部を分けています。

3、人口と世帯

両地域の人口は、平成12年国勢調査における人口34,278人、平成15年3月の住民基本台帳では33,888人となっています。

中条町では、昭和50年国勢調査の30,091人を最高に、昭和55年からは前回比で1ポイント程度の減少傾向が続いています。逆に黒川村では極端な増加傾向にはないものの、長年の地域おこしの成果により、昭和50年をピークに人口流出に歯止めがかかり、平成元年には過疎地の指定を解かれています。また、全国的な傾向ではあるものの両地域とも年少人口の低下の反面、老年人口の増加が進んでいます。

加えて、人口動態での増減をみた場合、中条町では転出による社会的要因の減のほか、両地域とも出生率の低下による自然減が顕著に現われています。

世帯数については、両地域とも僅かずつですが増加傾向にあり、地域内で核家族化が進んでいるものと考えられます。ただし、高齢者のみの世帯、高齢者のひとり暮らし世帯の急激な増加を見逃すことはできません。

4、産業構造

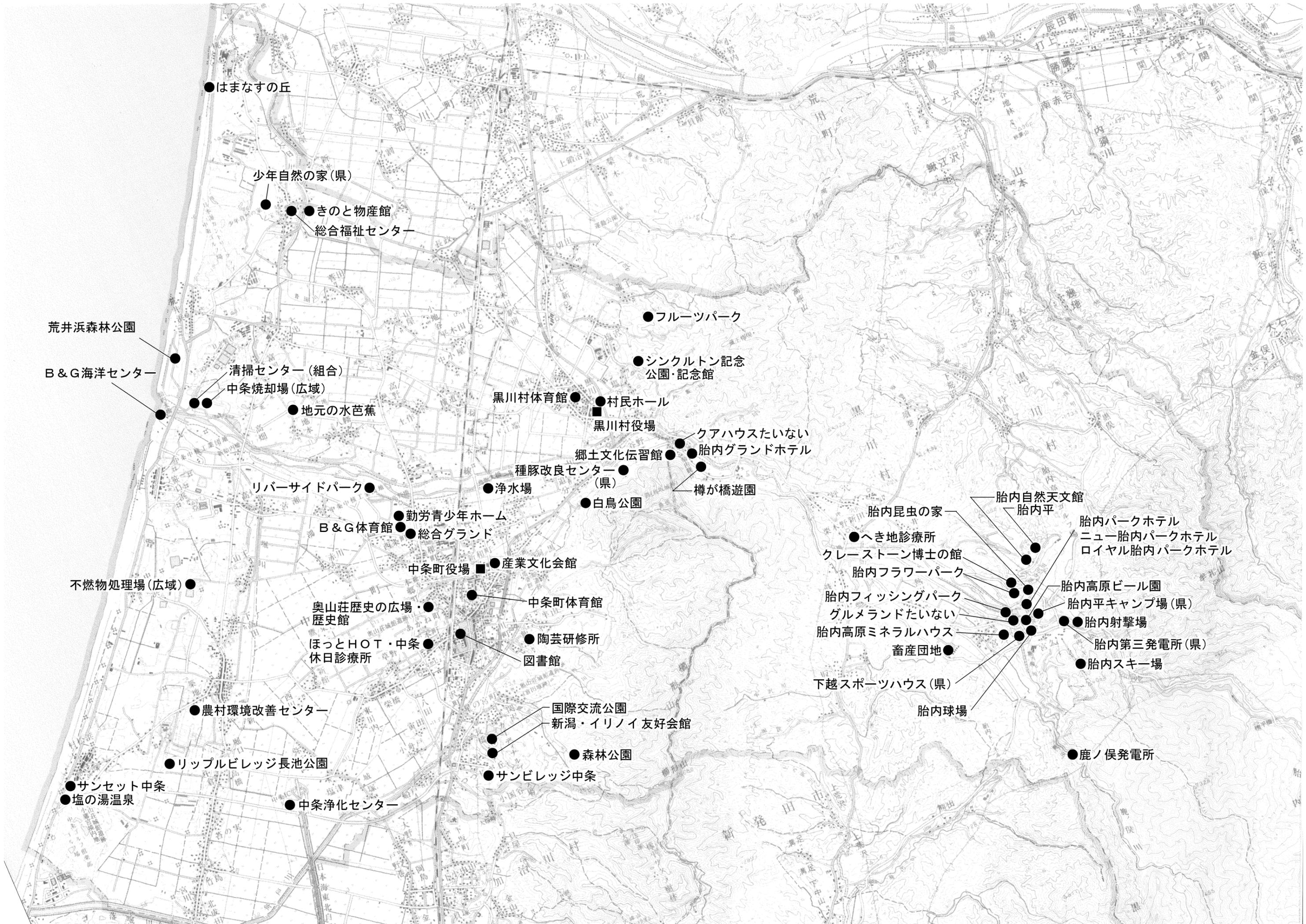
両地域とも農業は「コシヒカリ」をはじめとする稲作を基幹に、中条町ではチューリップ（球根）や葉たばこ、ねぎ、大豆等、黒川村では肉用牛などを取り入れた複合化が進んでいます。

そのほか中条町では、昭和30年代に大手企業の進出が相次ぎ、近年中核工業団地が造成されるなど、県北の工業都市としての基盤を確立しました。

商業については、国道7号線沿いの大型店進出も相まって、独立した商業圏域を形成しつつあります。

黒川村は、昭和40年、国設胎内スキー場が完成したのをきっかけに、豊かな自然環境を生かしたスキー場、ホテル、ゴルフ場など施設整備を行い、観光客の入り込み数は、平成6年度に過去最高の96万人に達しましたが、景気の低迷による節約モードや低価格競争などの影響により、全国的な傾向とはいえ観光収入面では厳しい状況にあります。

中条町においては、チューリップフェスティバルが、県内外からも観光客を集め、入込数も微増の状況にあります。



●はまなすの丘

●少年自然の家(県)

●きのと物産館

●総合福祉センター

●荒井浜森林公園

●B & G海洋センター

●清掃センター(組合)

●中条焼却場(広域)

●地元の水芭蕉

●フルーツパーク

●シンクルトン記念公園・記念館

●黒川村体育館

●村民ホール

■黒川村役場

●クアハウスたいない

●胎内グランドホテル

●郷土文化伝習館

●種豚改良センター(県)

●樽が橋遊園

●リバーサイドパーク

●浄水場

●白鳥公園

●勤労青少年ホーム

●B & G体育館

●総合グランド

●胎内昆虫の家

●胎内自然天文館

●胎内平

●胎内パークホテル

●ニュー胎内パークホテル

●ロイヤル胎内パークホテル

●へき地診療所

●クレーストーン博士の館

●胎内フラワーパーク

●胎内高原ビール園

●胎内平キャンプ場(県)

●胎内フィッシングパーク

●グルメランドたいない

●胎内高原ミネラルハウス

●畜産団地

●胎内射撃場

●胎内第三発電所(県)

●胎内スキー場

●不燃物処理場(広域)

■中条町役場

●産業文化会館

●奥山荘歴史の広場・歴史館

●中条町体育館

●ほっとHOT・中条

●休日診療所

●陶芸研修所

●図書館

●下越スポーツハウス(県)

●胎内球場

●農村環境改善センター

●国際交流公園

●新潟・イリノイ友好会館

●リップルビレッジ長池公園

●森林公園

●鹿ノ俣発電所

●サンセット中条

●塩の湯温泉

●中条浄化センター

●サンビレッジ中条